

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年11月27日 (2008.11.27)

【公表番号】特表2008-526835(P2008-526835A)

【公表日】平成20年7月24日 (2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-029

【出願番号】特願2007-550300(P2007-550300)

【国際特許分類】

C 0 7 C 211/27 (2006.01)

C 0 7 C 309/29 (2006.01)

C 0 7 C 309/19 (2006.01)

C 0 7 C 309/30 (2006.01)

C 0 7 C 309/05 (2006.01)

C 0 7 C 309/04 (2006.01)

C 0 7 C 309/01 (2006.01)

C 0 7 C 209/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/137 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 25/08 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 211/27 C S P

C 0 7 C 309/29

C 0 7 C 309/19

C 0 7 C 309/30

C 0 7 C 309/05

C 0 7 C 309/04

C 0 7 C 309/01

C 0 7 C 209/00

A 6 1 K 31/137

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 25/24

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 25/08

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月10日 (2008.10.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

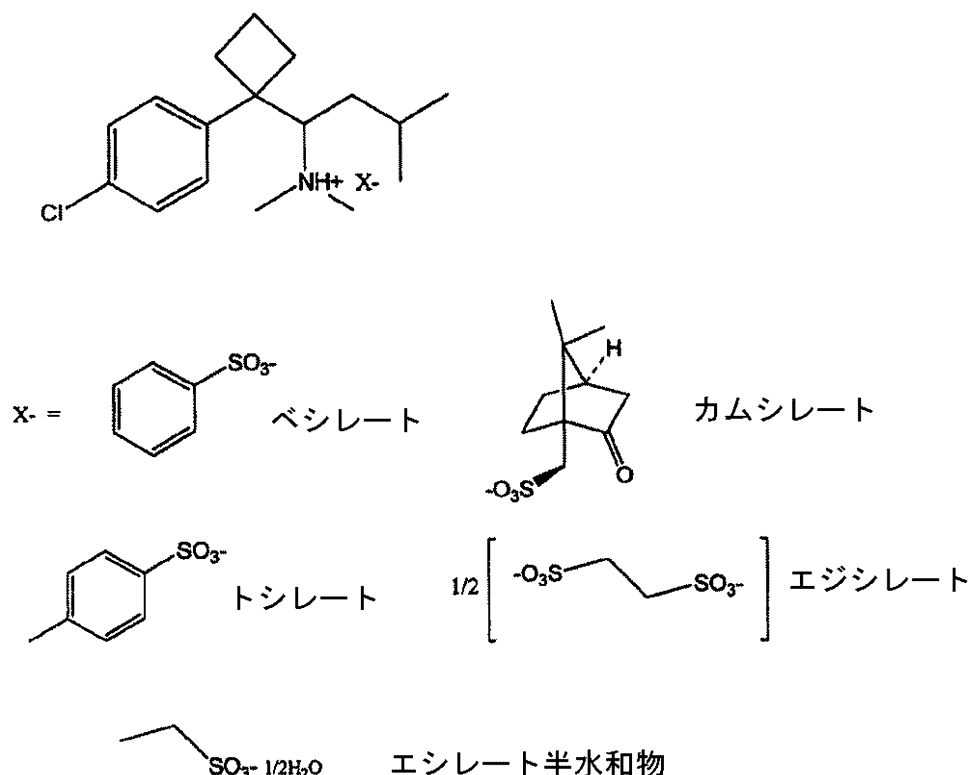
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記化学式 1 の構造を持つシブトラミンのスルホン酸塩。

【化 0 0 1】

## 化学式 1



## 【請求項 2】

X線回折分析において、ピーク強度 200 以上の場合における 2 $\theta$  の値が、6.6、10.9、13.4、14.5、16.2、17.1、17.4、19.7、20.1、21.4、22.0、22.7、23.5、24.6、24.9、25.7、26.6、27.3、32.9 を示すシブトラミンベンゼンスルホン酸塩であることを特徴とする、請求項 1 に記載のシブトラミンのサルホン酸塩。

## 【請求項 3】

X線回折分析において、ピーク強度 200 以上の場合における 2 $\theta$  の値が、6.7、8.1、12.5、12.8、13.3、15.0、16.0、16.6、18.4、19.0、20.0、21.3、22.5、22.8、24.2、24.7、25.0、26.6、28.3、33.8 を示すシブトラミンカンファースルホン酸塩であることを特徴とする、請求項 1 に記載のシブトラミンのサルホン酸塩。

## 【請求項 4】

X線回折分析において、ピーク強度 200 以上の場合における 2 $\theta$  の値が、6.4、11.0、11.1、12.3、12.8、14.2、16.5、17.1、19.2、19.8、21.3、22.1、24.1、24.9、26.3、26.5、27.8 を示すシブトラミン p-トルエンサルホン酸塩であることを特徴とする、請求項 1 に記載のシブトラミンのサルホン酸塩。

## 【請求項 5】

X線回折分析において、ピーク強度 200 以上の場合における 2 $\theta$  の値が、6.6、10.2、11.2、12.2、12.8、13.7、14.0、16.4、18.0、18.5、19.2、19.8、20.9、21.3、22.0、22.6、23.7、24.4、25.0、26.5、27.3、29.0、30.3 を示すシブトラミンエタジスルホン酸塩であることを特徴とする、請求項 1 に記載のシブトラミンのサルホン酸塩。

。

【請求項 6】

X線回折分析において、ピーク強度 200 以上の場合における 2 $\theta$  の値が、8.0、10.4、11.1、11.7、12.7、14.9、16.0、16.5、17.6、18.0、18.4、20.1、20.8、22.3、23.2、23.4、23.6、24.1、25.0、25.9、27.2、28.6、30.0、33.8 を示すシブトラミンエタンスルホン酸塩半水和物であることを特徴とする、請求項 1 に記載のシブトラミンのサルホン酸塩。

【請求項 7】

不活性溶媒中でシブトラミンに、ベンゼンスルホン酸、カンファースルホン酸、p - トルエンスルホン酸、エタンジスルホン酸およびエタンスルホン酸の中から選択されるサルホン酸を反応させる段階を含み、請求項 1 に記載の化学式 1 で表されるシブトラミンのサルホン酸塩を製造する方法。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の化学式 1 で表されるシブトラミンのサルホン酸塩および薬学的に許容可能な希釈剤または担体を含有してなる薬学的組成物。

【請求項 9】

錠剤またはカプセル剤の剤形であることを特徴とする、請求項 8 に記載の薬学的組成物。

【請求項 10】

薬学的組成物が、肥満および肥満関連疾患、うつ病、パーキンソン病、インスリン非依存性糖尿病または癲癇を治療または予防するためのものである請求項 8 又は 9 に記載の薬学的組成物。